Vagueコードレビュー１回目

—

SQL：

vague.sql →

user\_infoにlogin\_flg, m\_flg, insert\_dateの論理名称が設計書と異なる。

product\_infoにproduct\_stockが追加されている。not null指定の項目が設計書と異なる。insert\_dateの論理名称が設計書と異なる。外部キー制約がない。

cart\_infoのuser\_idの桁数が設計書と異なる。insert\_dateの論理名称が設計書と異なる。外部キーの制約がない。not null制約が設計書と異なる。

purchase\_history\_infoの外部キー制約がない。insert\_dateの論理名称が設計書と異なる。

destination\_infoのinsert\_dateの論理名称が設計書と異なる。postal\_codeが追加されている。

設計書からみた各機能動作：

初期画面でヘッダーに商品一覧がない

ヘッダーが固定されていない

ヘッダーのメニュー項目が画面を縮小するとメニューが隠れてしまう

ログインした際に商品一覧のメニュー項目がヘッダーに無い

商品詳細機能の画面に表示されている項目名を設計書にあわせる

カートに商品がない場合の文言で、「かーとに入れた」と表示されるので「カートに入れた」とするのが望ましい

カート画面に表示される文言を設計書にあわせる

カート画面から決済ボタンを押すといきなり宛先登録画面に移動してしまう

宛先登録で入力値の保持機能が実装されていない

宛先登録で設計書では１８文字以上に対して１４文字以上の制約になっている

宛先登録の電話番号で-（ハイフン）がOKになっている（可能なものは半角数字のみ）

宛先登録の郵便番号でxxx-xxxxのように-（ハイフン）をつけると入力エラーのポップアップが表示される

管理者でログインした際にヘッダーの検索ボックス横に過去のエラー文言が表示されてしまっている

JSP→

WEB-INFの中にJSPは配置しない。

DOCTYPEをHTML５形式で統一する。

buyItemComplete.jspで１０秒後の画面遷移は長すぎるので最長でも３秒程度にしておくと良い。

header.jspのカテゴリはm\_category\_infoテーブルから取得したリストを使って表示する

ヘッダーメニューの各メニューは画面全体ではなくヘッダー内に作成する

productList.jspで<s:url>を使った際に値渡しする時には<s:param>タグでプログラムする

purchaseHistory.jspでテストページとの記述がある

JSP内で黄色線のエラー表示となっている箇所は修正しておく

各Actionクラス、DAOクラス→

DAOクラスでexecuteUpdate()を使う場合は、executeUpdateで実行された結果となる件数をreturnでActionクラスに引き継ぐ。Actionクラスでは、結果となる件数が0件よりも大きかったかを判定して次の処理に進む。（登録、更新、削除の結果が0件の場合を考慮して判定処理をおこなっておく）

各DAOクラスでDBConnectorとConnectionの宣言は各メソッド内で宣言する（DAOクラス内でこれをフィールド変数として宣言すると、２つ目のメソッドを呼び出してDBに接続しようとした時に、DBにつながらない為（con.close()で一度接続を終了している為））

CategoryDAOが作成されていない

LoginUserDAOでDateUtilが実際にプログラム内で使われていない

LoginActionActionでUserCreateDAOは実際にプログラム内で使われていない

ProductDetailsActionでReviewDTOは実際にプログラム内で使われていない